



白浜町

議会だより

No. **70**

令和5年(2023)11月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

CONTENTS

令和5年第3回定例会	2
ピックアップ記事	4
一般質問	6
町議会・町議会議長の主な動き	10
視察研修報告	10
次回定例会日程など	背表紙

(白良浜 de ひらひらTシャツアート展)

第3回
定例会

条例改正

- 白浜町印鑑条例の一部を改正する条例について
- 白浜町管住宅条例の一部を改正する条例について
- 白浜町火災予防条例の一部を改正する条例について

報告

- 専決処分等の報告について
- 第26期南紀白浜コミュニティ放送株式会社経営状況の提出について
- 令和4年度公益財団法人白浜医療福祉財団経営状況の提出について
- 令和4年度健全化判断比率の報告について
- 令和4年度資金不足比率の報告について
- 令和4年度白浜町継続費精算報告について

9月定例会のあらまし

- 9月5日(第1日)
 - ・会期決定、議案提案説明
- 9月14日・15日(第2日・3日)
 - ・一般質問(7名)
- 9月20日(第4日)
 - ・追加議案提案説明
 - ・決算審査特別委員会の設置
 - ・議案審議
- 9月21日(第5日)
 - ・議案審議、発議案件

契約の締結

- 白浜町清掃センター(ごみ焼却施設等)長期整備工事(その2)
 - 【工事場所】
 - 白浜町保呂749番地
 - 【契約金額】
 - 8899万円
 - 【契約の相手】
 - 大阪府大阪市北区堂島一丁目6番20号
 - 荏原環境プラント株式会社
 - 西日本支店
 - 支店長 山内 秀洋

補正予算

- 令和5年度白浜町一般会計補正予算(第4号)
 - ・既定予算への補正額
 - 8億3300万円
 - ・補正後の歳入歳出予算総額
 - 130億9920万円
 - 【総務費】
 - ・財政調整基金積立金
 - 2億9700万円
 - ・庁舎等整備基金積立金
 - 5000万円
 - ・ふるさと白浜応援寄附金事業
 - 2億円
 - ・耐災害ネットワーク整備事業
 - 5406万円
 - 【農林水産業費】
 - ・松林保全対策事業
 - 430万円
 - 【観光費】
 - ・体験型観光強化事業補助金
 - 400万円
 - 【土木費】
 - ・道路維持補修事業
 - 1000万円
- 令和5年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)
 - ・既定予算への補正額
 - 1億3320万2千円
 - ・補正後の歳入歳出予算総額
 - 35億9506万7千円
 - 【災害復旧費】
 - ・林道熊野川線災害復旧事業
 - 521万円
 - ・町道柳橋小谷線災害復旧事業
 - 2800万円
 - ・町道柳橋小谷線道路補修事業
 - 3900万円
 - ・小房橋修繕事業
 - 1340万円
 - ・血深川浸水対策事業
 - 4200万円

○令和5年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・既定予算への補正額

収益的収支 446万4千円

資本的収支 798万円

・補正後の収支予算総額

収益的収支 3億5362万3千円

資本的収入 2億6830万円

資本的支出 3億6596万円

規約の変更に関する協議

○田辺西牟婁地区消防通信指令事務協議会を組織する地方公共団体の数の増加及びこれに伴う規約の変更に関する協議について

【変更理由】

古座川町、串本町及び日高広域消防事務組合の田辺西牟婁地区消防通信指令事務協議会への加入に伴い、規約を変更。

計画の変更

○白浜町の辺地(川添辺地)に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

【主な変更内容】

公共的施設の整備計画に「林道熊野川線改良事業」を追加。

9月定例会

議案等の審議結果一覧

件名	結果	長野 莊一	堅田 府利	溝口 耕太郎	正木 秀男	廣畑 敏雄	横畑 真治	西尾 智朗	水上 久美子	松田 剛治	小森 一典	黒田 武士	辻成紀
専決処分の承認について(損害賠償の額を定めること)	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(白浜町清掃センター(ごみ焼却施設等)長期整備工事(その2))	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町印鑑条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町営住宅条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町火災予防条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町一般会計補正予算(第4号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町の辺地(川添辺地)に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
田辺西牟婁地区消防通信指令事務協議会を組織する地方公共団体の数の増加及びこれに伴う規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。

※議案審議等の詳細を4ページから5ページに掲載しています。

こども家庭センターの設置

全員協議会

◆事業概要

子育てに不安・困難を抱える世帯や児童相談件数の増加などが、これまで以上に顕在化してきている状況を踏まえ、令和6年4月1日を目途に「児童福祉」と「母子保健」の機能を一体化した「こども家庭センター」を設置し、子育て世帯に対する包括的な支援体制の強化を図ります。

◆質疑概要

問こども家庭センターの業務として、「地域資源の開拓」が示されているが、こういった事業を想定されているか。

答現時点では、既存の事業をうまく活用して子育て施策の支援メニューに取り組み予定としている。今後、こども家庭センターが本格始動すれば、民間企業等とも連携しながら、新たな支援メニューの開拓に取り組んでいきたい。



白浜町地域公共交通計画策定

全員協議会

◆事業概要

社会情勢の変化に伴い、公共交通において様々な課題を抱える中、住民、来訪者の誰もが快適に利用でき、将来にわたり持続可能な公共交通体系を維持・確保するため、「白浜町地域公共交通計画」を策定しました。

◆質疑概要

問公共交通が利用しづらい地域の解消に向け、「自家用有償旅客運送やライドシェア等の地域住民との連携による交通手段の確保」を前倒して進めていく考えはないか。

答地域住民との連携が不可欠な取り組みとなることから、地域からそういった声があれば前倒して進めていくことは可能と考える。

問公共交通の課題解決手段として、自動運転技術などのICT技術活用の考えは。

答ICT技術は便利である反面、導入コストが安価でないことから、既存の公共交通を活用して課題の解決を図りたいと考える。



白浜町DX推進計画策定

全員協議会

◆事業概要

人口減少・少子高齢化が進む中、今後変わることなく行政サービスを提供していくには、積極的なデジタル技術の導入による業務の効率化・働き方の改革が必要になります。こうした中、本町が取り組むべき事項、時期を具体化し、着実かつ迅速にDXを推進するため、白浜町DX推進計画を策定しました。

◆質疑概要

問自治体DXを進めていくうえで、デジタルデバイス対策（情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間にもたらされる格差の是正）が課題と考えるが、白浜町では、どのような対策を考えているか。

答誰一人取り残されることなくデジタル化の恩恵が受けられるよう、時間をかけて啓発するとともに、情報格差の是正に向けて、スマートフォン教室等のデジタル活用支援の取り組みを進めていく。



Pick up!

定例会や全員協議会等で審議された内容をピックアップしてご紹介します。

耐災害ネットワーク整備事業 5406万円

第3回定例会

◆事業概要

日置川地域に耐災害ネットワークを整備することにより、災害等によるキャリア回線の途絶時におけるBCP（事業継続計画）対策を図ります。

また、整備したネットワークの利用者情報を適切に取得し、利用することにより、企業誘致やワーケーション活動を促進するとともに、移住者や関係人口の増加を図ります。

◆事業内容

- ① 日置川地域5か所に基地局を設置し、M-ITによる無線接続を整備
- ② 基地局にてフリーM-ITサービスを提供
- ③ ネットワーク利用者から情報を取得するための同意管理プラットフォームを導入
- ④ キャリア回線の途絶時におけるBCP対策のための衛星通信を確保



ふるさと白浜応援寄附金事業 2億円

第3回定例会

◆事業概要

ふるさと納税とは、地方公共団体に寄附した場合、住民税や所得税が一定限度まで控除される制度のことです。

今回の補正予算では、これまでの受入実績をもとに、ふるさと白浜応援寄附金の収入予算総額を4億円から6億円に増額するものです。いただいた寄附金は、寄附者へのお礼産品や事務経費への充当、寄附者から指定いただいた分野に応じて町の事業を実施するなど、貴重な町の財源として活用されています。

◆寄附金活用実績（令和4年度）

- ① 地域振興に関する事業 3300万円
 - ② 環境保全等に関する事業 2100万円
 - ③ 福祉の充実に関する事業 1600万円
 - ④ 観光、商工、農林水産業等の振興に関する事業 2200万円
 - ⑤ 教育、文化及びスポーツの振興に関する事業 2500万円
 - ⑥ 事業指定なし（町長におまかせ） 8700万円
- ・合計 2億400万円

◆ふるさと納税の推進に向けた取り組み

◇南紀白浜旅先納税を関西初導入

白浜町では、南紀白浜旅先納税を関西初導入し、取り組みを進めています。

旅先納税とは、旅行や出張・お出かけで訪れた地域に寄附を行い、返礼品としてその地域内で利用可能な電子商品券を受け取り、地域内の加盟店舗ですぐに利用ができる新たな「ふるさと納税」です。白浜町の電子商品券は南紀白浜 e 街ギフト「Yanico」です。

※「Yanico」は白浜町内の飲食や宿泊、アクティビティなどの代金として利用いただけます。

◇白浜町で保育園留学しませんか？

保育園留学とは、1週間から3週間、子どもが保育園に通いながら家族で地域に滞在できる暮らし体験のことです。

白浜町では、本年10月から日置保育園で保育園留学を開始し、地域と子育て家族をつなぎ、長期的な関係人口を創出することで地域の活性化に取り組みむこととしています。

また、保育園留学にかかる費用の支払いに、南紀白浜旅先納税の返礼品として受け取れる電子商品券（南紀白浜 e 街ギフト「Yanico」）が活用できるなど、保育園留学の取り組みはふるさと納税の推進にもつながっています。

質問議員 / 質問事項

○長野 莊一 議員(6ページ)

- ・廃校になっている椿小学校の維持管理について
- ・友好都市提携について
- ・マイナンバーカードについて

○横畑 真治 議員(7ページ)

- ・町営墓地について
- ・防風林について

○水上 久美子 議員(7ページ)

- ・パートナーシップ、ファミリーシップ宣誓、導入について
- ・こども家庭センターとこども基本法、少子化、学校について

○辻 成紀 議員(8ページ)

- ・公営住宅等について
- ・人口減少と地域振興について
- ・松枯れ対策について

質問議員 / 質問事項

○松田 剛治 議員(8ページ)

- ・子育て支援について
- ・奨学金返還制度について
- ・水害における被災家屋認定調査の官民連携について

○廣畑 敏雄 議員(9ページ)

- ・窓口での「軟骨伝導補助イヤホン」の設置について
- ・学校給食の無償化について
- ・マイナンバーカードの健康保険証の利用について

○小森 一典 議員(9ページ)

- ・玉伝・大地区消防ポンプ取水場の整備について
- ・才野地区・高台エリアにおける住環境整備について



ながの そういち
長野 莊一 議員

QRコードの有効
期限は12月下旬まで



(廃校となった椿小学校)

問 友好都市提携を結んでいる国、ハワイ州ホノルル市、韓国果川市、韓国泰安郡との今後の交流について伺う。

友好都市提携

問 椿小学校の校舎、周辺施設の維持管理が出来ていないと思うがいかがか。また、今後の維持管理をどのように考えているか。

答 教育委員会が管理していくべき大切な財産にも関わらず、適切な維持管理ができていなかった。今後は、職員間で十分ミーティングを行い、計画的に維持管理ができるよう年次計画を立て、職員一丸となって維持管理に努めていく。

問 マイナ保険証に代わる資格確認書とはどのようなものか。

答 資格確認書とは、氏名、生年月日、被保険者等記号・番号、保険者情報など医療機関等における被保険者資格の確認に必要な項目が記載されたものです。

マイナンバーカード

問 韓国果川市、韓国泰安郡とは情勢を見ながら交流再開意思の確認や今後の協議を行っていききたい。

答 また、令和6年度はホノルル市と友好都市提携20周年となることから、記念イベントの開催など、町内経済団体等とも連携して、今後も交流の取り組みを進めていきたい。

問 廃校となった校舎も適切に維持管理すべきでは

答 年次計画を立て、計画的に維持管理を行う

問 社会情勢の変化に伴う町営墓地のあり方は

答 地域の方々が安心して使用できる空間を目指す

問 人口減少や高齢化による墓地の需要の変化に対応するため、墓地の規模や形態等を検討していく必要があると考える。現在の町営墓地のシステムについて伺う。

答 町営墓地については、公衆衛生を中心として経営に努めてきたところであり、合祀墓や散骨、樹木葬等の新たな墓地や葬送への対応は行っていない。

問 高齢化や核家族化の影響により、個人墓地の維持管理が困難になってきているなど、時代の変化や過疎化の進む中、町営墓地についても持続可能な取り組みが必要と感じている。将来的に町営墓地に共同墓地を設置する考えはないか伺う。

答 提案のあった共同墓地になると、町の責任において遺骨を管理する必要がありことから、周辺自治体や民営の墓地等の状況を踏まえながら検討していきたいと考える。

防風林

問 町内に防風林と言われる場所はどれほどあるか。また、白浜町内でも所有地の関係で維持管理が様々あると思われるが、現状について伺う。

答 当町で防風を目的とした保安林として指定されているのは、5箇所である。議員のご指摘のとおり、所有地や森林の所有者などの関係から、その維持管理はそれぞれ異なっている。



よこはた しんじ
横畑 真治 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



(お墓参りのイメージ図)

問 パートナーシップ宣誓制度等導入の考えは

答 多様な性の正しい知識の理解促進に取り組む

問 多様な人の幸せ、権利を認めるために白浜町でのパートナーシップ、ファミリーシップ宣誓導入について答弁を求める。

答 宣誓制度の導入は法整備などの動向を見ながら、まずは、多様な性に関する理解促進に向け、引き続き啓発活動等に取り組んでいく。

子ども家庭センター、こども基本法、少子化、学校

問 偏見や差別、LGBTQへの学校現場の取り組みを伺う。

答 保健や道徳の学習、研修会等において、多様な性についての理解、学習を進めている。

問 GIGAスクール構想における授業進捗と動作環境の問題は。

答 現時点の最善に近い動作環境を整え、個別の学習だけでなく、協働的な学習場面でも活用している。

問 家庭での教育意識の差や経済格差が生徒の学習意欲、習熟度に影響を与える可能性はどうか。

答 生まれた環境で子どもたちの将来が左右されることがないように、引き続き学校現場での学びに加え、家庭との連携等に取り組んでいく。

問 教育ビジョン「こどもまんなか」をどう捉えているのか。

答 「一人ひとりの子どもを主語にする学校教育の実現」を目指し、学習者中心の授業を創造する等、児童生徒の成長のため、全力で取り組みを進めている。



みずかみ くみ こ
水上 久美子 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



(GIGA 端末を使っでの授業)

問 地域活性化に向けた公営住宅活用の考えは

答 地域活性化に向け、空家も含めた利活用を研究

問 安宅改良住宅の安全面、衛生面を考慮して、撤去も含めた維持管理の早急な対応について伺う。

答 今後も現状把握に努め、限られた財源等を効率的、効果的に活用しながら適切な管理に努めていく。

問 入居者増加に向けた取り組みは。
答 募集方法の工夫や他の自治体の取り組みも参考に、将来的な対策も含めた研究を進めていきたい。

人口減少と地域振興

問 人口減少の歯止めとなる施策として、高校生の通学補助実施は。

答 高校生の通学方法が、電車・バス、自転車など多岐にわたり、助成の範囲や対象など整合性の観点から現時点で実施困難と考える。



つぎ せい き
辻 成紀 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



(上：H11年築安宅第一団地
下：S54年築安宅改良団地)

問 山間地域では買い物や通学が不便。行政の助けが必要と考える。

答 過疎計画に基づく「交通施設の整備」や「集落の整備」など、必要な事業を着実に実施することで日置川地域に点在する山間地域の住民の生活を守っていきたい。

松枯れ対策

問 枯れた松の後に松苗を植栽し、松林を維持していく考えは。

答 植栽をするのはそんなに難しいことではないが、松林を将来にわたって維持していくには、地域ぐるみの取り組みを続けることも非常に大事なことであり、地域や関係者と協議・連携をしながら取り組みが必要がある。

問 若者の地方定着に奨学金返還支援制度の導入は

答 若者移住支援策の一つとして検討していく

問 地方創生の観点から、若者の地方定着を促す「奨学金返還支援制度」を本町でも実施することが必要であると考えるが、町の見解について伺う。

答 移住支援は奨学金返還支援制度単体の取り組みとして実施するのではなく、各分野の事業を組み合わせることで効果的な施策とできるような研究を続けていきたい。

被災家屋認定調査の官民連携

問 水害における被害家屋認定調査での罹災証明書の発行を円滑にするため、損害保険会社との官民連携の取り組みが行われている。町としても導入を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答 官民連携により効率化が図られている事例もあることから、近隣市町の動向を見ながら、今後、導入について検討していきたい。

子育て支援

問 子育て世帯の経済的支援としても、恒久的な給食費の無償化の実現を目指していただき、その財源はふるさと納税を活用して進めてみてはと考えるが、見解を伺う。

答 無償化の財源をふるさと納税と仮定した場合、新たに恒久的な寄附が約1億8000万円必要となるので財源の確保が困難と考えている。引き続き、国県の補助の有無や、周辺市町の動向を注視していきたい。



まつだ たけはる
松田 剛治 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



(負担となる奨学金返済の図)

問 現行の健康保険証の存続を求める

答 円滑に医療を受けられるようきめ細かな対応を徹底

問 マイナンバーカードが申請により交付される中、様々な個人情報の紐づけに際して多くの事故が報告されており、個人情報の漏洩が心配される。

また、報道によると、6月に行った「健康保険証の廃止とマイナンバーカードの一本化」に関する世

論調査では、保険証廃止の撤回と延期を求めた人は合わせて約77%あり、健康保険証の代わりとなる資格確認書を交付することなどが、従来の健康保険証を発行すれば安心安全で費用も抑えることができる。

高齢者や障害者など、社会的弱者にしわ寄せがくるこうした取り扱いについて、町の見解はどうか。



ひろはた としお
廣畑 敏雄 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(現在の健康保険証)

答 国は、令和6年秋の健康保険証廃止が円滑に進むよう取り組むとしつつも、全面的な廃止については「国民の不安を払拭するための措置が完了することを大前提として取り組む」との方向性が示されている。

当町においても、国の動向、方針を注視しながら、適切な運用に努めていきたい。

このほか、廣畑議員は「窓口での「軟骨伝導補助イヤホン」の設置について」、「学校給食の無償化について」質問しました。

問 災害に強いまちづくりに向けた考えは

答 緊急度・優先度を見極め、災害対策を進める

問 人口減少、少子高齢化が著しい中山間地域において大規模災害が発生した場合、消防団の出動が必須となるが、消防団員の減少や消

火活動に必要な消火栓、防火水槽の整備などが課題となっている。白浜町の中山間地域においても、河川から取水する場合に備え、県道

から河川付近までの道路を整備することで、消防ポンプ車の水利が十分確保できると考えるが、当局の見解について伺う。

答 地域において有効な水利施設がない、もしくは水利施設が乏しいなど、様々な地域において消防水利施設を設置及び計画している。当該地域における有効な消防用水利施設の整備について、今後も引き続き検討していきたい。

高台エリアの住環境整備

問 近年、南海トラフ巨大地震や大津波を懸念して、熊野神社近郊の高台エリアに住宅を造成する住民が増え始めている。

第2次白浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「安心・安全で快適な暮らしの確保」が基本目標に掲げられているが、こうした目標の実現に向けて目指している町の方向性並びに住環境整備についての見解を伺う。

答 住環境の充実以外にも、子育てや教育などの施策を併せて実施することにより、住みやすいまちづくりに繋がると考えている。引き続きまちづくり施策に取り組んでいきたい。



こもり かずのり
小森 一典 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(熊野神社近郊)

8 月

- 13日 ● 改修促進協議会
 ● 県道白浜久木線・日置川大塔線
- 10日 ● 南紀白浜花火フェスタ
- 6日 ● 岡里橋竣工式
- 4日 ● 県町村議会議長会 全議員研修会
- 2日 ● 富田川衛生施設組合議会
 ● 田辺周辺広域市町村圏組合議会
- 1日 ● 湯のまちしらはまわどり

7 月

- 27日 ● 視察来庁
 ● 日高町議会 総務福祉常任委員会
- 26日 ● 県後期高齢者医療広域連合議会
 ● 富田川治水組合議会
- 21日 ● 議会運営委員会 視察研修
- 20日 ● 議会運営委員会 視察研修
- 18日 ● 公立紀南病院組合議会
- 13日 ● 議会広報特別委員会
- 12日 ● 戦没者追悼式
- 6日 ● 富田共有財産組合総会
- 5日 ● 大辺路衛生施設組合議会
- 4日 ● 高速自動車道紀南延長促進協議会
 ● 白浜町老人クラブ連合会代議員総会
- 3日 ● DX入門セミナー

日程：令和5年7月20日～21日

視察先：大阪府 豊能町議会「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」

大阪府 熊取町議会「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」

参加者：水上委員長、堅田副委員長、長野委員、溝口委員、松田委員、正木議長

所見

視察を行った両町ともに、タブレット端末の導入に際して大きなトラブルもなく、タブレット端末の活用によって資料の整理・保管の利便性が向上し、議案審議の効率化などが図られている。また、タブレット端末は議会資料のペーパーレス化だけでなく、オンラインでの会議の開催、災害時の連絡手段としても活用が可能であり、タブレット端末導入による効果は大きいものと考ええる。

白浜町議会としても、視察先の取り組みを参考に、庁舎内の通信環境の整備、議員のスキルアップを図りつつ、タブレット端末導入を進めていくべきである。



(7/20 大阪府 豊能町議会)



(7/21 大阪府 熊取町議会)

町議会・町議会議長の主な動き(7月~9月)

9 月					8 月						
30日	28日	21日	20日	15日	14日	5日	31日	29日	23日	18日	17日
●敬老会(日置川会場)	●敬老会(白浜会場)	●第3回定例会(第5日)	●第3回定例会(第4日)	●第3回定例会(第3日)	●第3回定例会(第2日)	●第3回定例会(第1日)	●富田川衛生施設組合し尿協議会	●議会運営委員会	●富山県議会 地方創生産業委員会 視察来庁	●中学生議会	●全員協議会
	●富田川衛生施設組合し尿協議会	●議会運営委員会	●議会運営委員会	●議会運営委員会	●全員協議会						

視察研修報告

議会運営委員会

大阪府 豊能町議会

豊能町議会では、令和4年9月議会からタブレット端末を用いたペーパーレス議会を実施している。

タブレット端末を導入するにあたり、利用者講習会の実施に加え、タブレット端末を用いた模擬議会の開催、紙とタブレット端末を併用した議会の開催を行っており、導入後も大きなトラブルは発生していない。

また、会議で使用する資料をすべてペーパーレス化するのではなく、審議の過程において一部紙資料を併用することで、審議の効率化に努めている。

大阪府 熊取町議会

熊取町議会では、令和2年12月議会からタブレット端末を用いた議会資料のペーパーレス化を実施している。

なお、タブレット端末は、議会関係の会議で使用するだけでなく、災害発生直後の情報収集、連絡などをオンラインで行うことを想定した防災訓練などにも活用している。

また、これまで事務局から議員へ送付していた文書や連絡手段についてもデジタル化を進めている。

12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
12/3	4	5 第1日 提案説明	6	7	8	9
10	11	12	13	14 第2日 一般質問	15 第3日 一般質問	16
17	18	19 第4日 議案審議	20 第5日 議案審議	21	22	23

※次回の定例会は、12月5日から20日まで開催予定です。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

議会を“見て”

本会議などの様子をインターネットで録画配信しています。



録画配信HP

議会を“聞いて”

一般質問の様子をFMビーチステーションで放送しています。



FM放送予定

議会を“知って”

過去の議会だよりについても、ホームページでご覧いただけます。



議会だよりHP

全議員研修会（かつらぎ総合文化会館）



8月4日に全議員研修会が開催され、おかだあきら岡田 晃 講師（大阪経済大学特別招聘教授）に「激変する国際情勢と日本経済の行方」を演題に講演いただきました。

中学生議会



8月18日に中学生議会が開催され、町内中学校の生徒7名が中学生議員として登壇し、中学生ならではの視点で町に質問や提案を行いました。

編集 後記

秋の気配を感じられる季節になってまいりました。この夏は、コロナの影響もほとんどなく、観光地白浜に多くの観光客が訪れ、以前の賑わいを取り戻してきていると感じられました。

しかし、コロナ禍におけるガソリン、光熱費、食料品などの生活必需品の値上がりは依然として続いており、住民生活や地域経済に及ぼす影響が深刻化しています。

こうした状況の改善に向けて、今後も引き続き、町と議会が一体となって、低所得の子育て世帯を中心に住民生活の支援施策を着実に推進してまいります。（辻）

議会広報特別委員会

委員長 水上久美子
副委員長 黒田 武士
委員 堅田 府利 横畑 真治
西尾 智朗 辻 成紀